

地域医療連携推進法人北河内メディカルネットワーク (KMN)
地域医療連携推進評議会 議事概要

1. 開催日時 : 2021年6月8日(火) 14時00分～15時10分
 2. 開催場所 : 関西医科大学枚方学舎医学部棟13階「法人大会議室」
 3. 構成員総数 : 5名
 4. 出席構成員 : 藤本良知、吉野敬昌、大浅田寛、谷本雅洋、
竹島弘光(オンラインによる出席)
- その他出席者: 山下敏夫(代表理事)

5. 議 案 :

- 第1号議案 昨年度評議会の意見に関する対応について
- 第2号議案 2020年度における主な事業活動について
- 第3号議案 2020年度事業報告について
- 第4号議案 2020年度決算について
- 第5号議案 2021年度事業計画・予算について

6. 議事の経過及びその結果 :

開会に先立ち代表理事から挨拶があった。また、事務局が出席者の確認を行い、本日の評議会は構成員5名全員が出席し、定款第45条に基づき有効に成立することが確認された。

定款第47条に基づき、出席した構成員の互選により藤本良知 枚方市医師会名誉会長が議長に選出された。議長は各構成員に自己紹介と挨拶を依頼した後、評議会の開会を宣した。

議事の経過の要領及びその結果は次の通り。

第1号議案 昨年度評議会の意見に関する対応について

議長の求めに応じて、事務局から昨年度評議会の意見に関する対応について、資料に基づき報告があった。

続いて、以下の通り構成員から評価、意見があった。

- ・地域医療連携推進法人の事業は一般の方にも伝えていくことが望ましく、地元メディアや関連企業・団体の所報などを通じて広報することも一案である。
- ・地域医療連携推進法人の情報が地域の医師の間でも十分に浸透していない側面がある。雑誌に掲載された代表理事の論文は地域医療連携推進法人の概要が分かりやすく書かれており、医師会等に抜刷を配ることも検討してほしい。

代表理事から KMN の現状は参加施設間の連携が中心であり、一般向けではない事業もあるが、引き続きさらなる広報を検討したいと意見があった。

第2号議案 2020年度における主な事業活動について

議長の求めに応じて、事務局から2020年度に実施した主な事業活動について資料に基づき報告があった。

構成員から関西医科大学附属病院のオンライン放射線検査予約システムに関して、従来はFAXで予約するため時間がかかっていたが、オンラインで空き状況を確認し、迅速に予約がとれることは利便性が高いと評価があった。併せて、オンライン予約は顔の見える関係性だからこそ実現可能な仕組みと考えられると意見があった。

構成員からKMNのオンライン検査予約システムと、ひらかた地域医療連携ネットワーク協議会の「天の川ネット」との連携について質疑があり、事務局から両者を組み合わせることで放射線検査の予約と検査結果の閲覧がともにオンラインで可能になる旨回答があった。

代表理事からオンライン検査予約システムについて、今後参加施設にさらなる普及啓発を図り、予約時間の削減と検査機器の共同利用を実現していきたいと説明があった。

第3号議案 2020年度事業報告について

議長の求めに応じて、事務局から2020年度事業報告について資料に基づき説明があった。

続いて、議長から本議案に関する評価、意見の確認があり、構成員から適切に業務が遂行されていると評価された。

第4号議案 2020年度決算について

議長の求めに応じて、事務局から2020年度決算について資料に基づき説明があった。

構成員から社員の年間負担金の設定方法について質疑があり、事務局から参加施設の病床数に応じて設定していると回答があった。

続いて、議長から本議案に関する評価、意見の確認があり、構成員から適切に業務が遂行されていると評価された。

第5号議案 2021年度事業計画・予算について

議長の求めに応じて、事務局から2021年度事業計画・予算について資料に基づき説明があった。

構成員から今後の社員の追加募集について質疑があり、代表理事から地域医療連携推進法人には規制も多く、コロナ禍で活動も制限されているが、社員の追加はさらなる連携強化にもつながるため、これまでの事業の効果を整理しつつ追加募集の議論を始めたいと回答があった。

続いて、以下の通り構成員からの評価、意見があった。

- ・職員（例えば感染対策講師など）の派遣が実現すると地域医療の質の向上にもつながる。
また、コロナ禍で潜在看護師の活用なども課題となっていることから、「関医・看護師リカレントスクール」をはじめとする社員の復職支援の取組みをKMNとしても支援していくことが望ましい。
- ・昨今ではワクチン接種に関する医療従事者の確保が課題となっている。今後はこうした課題にも対応できるような人材の確保と育成が求められる。
- ・枚方市は国交省から「官民連携まちなか再生推進事業」の事業者や「新しいまちづくりのモデル都市」に選定されており、新たな街づくりに際して、KMNとしても医療の分野で連携していくことが期待される。
- ・今後、医療と文化のまちづくりが枚方市の魅力となりうるため、KMNには地域医療の充実に向けた取組みをさらに進めてほしい。

代表理事から KMN の事業を通じて、健康（予防医療）・医療・介護をシームレスに提供できる枠組みを目指すとともに、こうした分野に貢献できる幅広い人材の育成を進めたいと意見があった。

以上、議長は地域医療連携推進法人北河内メディカルネットワークの地域医療連携推進評議会に関する全ての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。また、閉会に際して代表理事から挨拶があった。

以 上